

小学館 相賀社長の提言

出版人に求められる「視点」

——「1年に1冊も本を読まない人が、約半数いる」と言われている。人口の半数が読んでいないのなら、まだ半数のマーケットが残されている、と考えるべきだ。今、自分で信じ込んでいることを違う方向で見てみると、また新たな可能性が見えてくる。「本が売れない」ではなく、「本を売ってない」というのが、正解！

講師 小学館 代表取締役社長 相賀昌宏氏

出版とは何かと問われたら、「視点をずらす」ことかもしれないと答えます。

いま目に見えていることが、別の視点からは違うものに見えたり、よく言われていることが実際と違っていたり、こうと思い込んでいたことが間違っていたりすることは、よく経験するところです。多様な視点を提供することで、人の役に立ちたいという気持ちがあれば、出版という仕事に就くこともそのひとつですが、それはひとつの選択肢に過ぎません。いかなる仕事に就こうと、この気持ちを忘れなければ、そこに新たな可能性が見えてくるような気がします。

この講座では、これから出版業界を志す皆さんが持つべき「視点」とはどのようなものかを一緒に考えてみたいと思います。

相賀昌宏



◆ 開催要項 ◆

主催：一般財団法人 日本出版クラブ

会場：日本出版クラブ会館 3階会議室「鳳凰の間」

新宿区袋町6番地（都営大江戸線「牛込神楽坂駅」A2出口徒歩2分）

参加対象：出版業界に就職を希望する大学生、大学院生

参加費：セミナー 1,000円 懇親会 1,500円（当日支払）

開催日時：2016年10月16日（日）14:00~17:00（受付13:30）

14:00~15:20 基調講演

『出版人に求められる「視点」』 相賀昌宏氏

15:30~17:00

「就活前に身につけておきたい！出版業の基礎知識」

星野 渉氏 文化通信社 編集長

17:00~18:30 懇親会（希望者）

定員：140名 先着順 参加決定者のみメールでお知らせします

※予告無く内容に変更が生じる場合がございます。

※普段着にてご参加ください。

※当講座は各社採用選考とは一切関係ありません。予めご了承の上、ご参加ください。

相賀昌宏（おおが・まさひろ） 略歴

昭和26年 東京生まれ。成蹊大学卒業後、中央大学大学院文学研修課を修了。昭和57年小学館入社。「コロコロコミック」などの編集に携わり、取締役・常務・専務を経て平成4年5月同社代表取締役社長に就任。一般社団法人日本書籍出版協会 理事長・一般社団法人日本雑誌協会 副理事長等を兼務。

◆ 参加申込受付 ◆

10月3日（月）正午より

- ① 学校名
- ② 学部・学科
- ③ 学年
- ④ 氏名・フリガナ
- ⑤ 連絡先メールアドレス
- ⑥ 就職を希望する職種
(例 児童図書編集部)
- ⑦ 懇親会参加の有・無

を明記して、下記担当宛にメール送信してください。

■ 問合せ先

一般財団法人 日本出版クラブ セミナー係 担当/杉山 sugiyama@shuppan-club.jp

TEL 03 (3260) 5271 FAX 03 (3267) 6095

日本出版クラブ主催 出版業界連続学生セミナー

参加対象：出版業界に就職希望の大学生、大学院生

出版界を志す学生へ

—来たれ！ 若き知の冒険者たち—

近代日本の出版は、その草創期に、若くてエネルギッシュな知の冒険者たちによって培われてきました。世界で有数の出版大国に成長した日本の出版界が、今後どのように舵を切っていくか。電子出版の可能性なども視野に収めながら、これから出版界を目指すみなさんとともに、出版の豊かな可能性と将来を考えていきたいと思えます。

講師陣は、出版界を代表する経営者や、出版の各分野で大きな功績を残し、豊富な経験を積んできた編集者、電子出版の可能性を探求している研究者、現在第一線で活躍する現役編集者や営業担当者など多岐にわたります。

また毎回、各出版社の人事担当者からのレクチャーや相談コーナーを設けるとともに、講師陣を囲んでの懇親会を予定しています。

出版界の先輩たちとともに、出版の将来や可能性について、大いに語り合しましょう。

総監修 野上 暁

野上 暁 略歴

1943年生まれ。1967年中央大学卒業後、小学館に入社。『小学一年生』など、学年誌編集部にて在籍中、『ウルトラ怪獣入門』『怪獣図解入門』を編集。100万部を超えるベストセラーに。『小学一年生』編集長などを経て、児童図書編集部長のときに企画編集した『21世紀子ども百科』シリーズは、今日まで続くロングセラーとなる。一般書編集部長などを経て、小学館取締役、小学館クリエイティブ代表取締役社長など歴任。在職中より、白百合女子大学児童文化学科、東京成徳大学子ども学部の非常勤講師を務めた。野上暁名の著書に、『おもちゃと遊び』（現代書館）、『日本児童文学の現代へ』（パロル舎）、『越境する児童文学』（長崎出版）、『子ども学 その源流へ』『子ども文化の現代史—遊び・メディア・サブカルチャーの奔流』（大月書店）、『小学館の学年誌と児童図書』（論創社）など。現在、日本ペンクラブ「子どもの本」委員長、財務委員長。東京純心大学こども学科客員教授。



— 来たれ！若き知の冒険者たち — 2016年 前期開催講座

5/7 (土)

『出版界は、どのような人材を求めているか』

菊池明郎氏(筑摩書房 顧問・元社長 柏書房 取締役)

5/25 (水)

『総合出版社は、面白い！』

片寄太一郎氏(講談社 第6事業局 第二出版部副部長)

6/14 (火)

『出版の醍醐味とは？』

郡司 聡氏(KADOKAWA 文芸・ノンフィクション局長 執行役員)

8/3 (水)

『コミック編集者の仕事』

堀内丸恵氏(集英社 代表取締役社長)

9/25 (日)

『「電子出版」は、もはや必修科目！』

植村八潮氏(専修大学教授)

◆お申込み方法◆

- ・ 日本出版クラブホームページ『最新のセミナー&イベント情報』
http://www.shuppan-club.jp/?page_id=35
- ・ twitter 『出版業界連続学生セミナー』
<https://twitter.com/PUBLISHERSCLUB>

※予告無く内容に変更が生じる場合がございます。

※当講座は各社採用選考とは一切関係ありません。予めご了承の上、ご参加ください。